

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人 人吉市社会福祉協議会

目 次

I 総括	1
II 理事会・評議員会等開催状況	2
III 専門部会活動	4
1 企画財政部会	4
2 地域福祉部会	4
3 児童福祉部会	5
4 調査広報部会	6
IV 校区社協活動	7
1 各校区の実績	7
2 小地域ネットワーク	11
3 ミニサロン	11
4 給食ボランティア事業	11
V 地域福祉事業の推進	12
1 安心生活応援団	12
2 買い物支援事業	12
3 ふれあいサービス	12
4 ファミリーサポートセンター	13
5 暮らし見守り相談員事業	13
6 生活支援体制整備事業	15
7 人吉球磨成年後見センター	18
8 地域福祉権利擁護事業	23
9 生活困窮者自立相談支援事業	24
10 生活福祉資金貸付	24
11 小口福祉資金貸付	25
12 社会福祉のつどい	25
13 地域支え合いセンター	26
VI ボランティア活動及び福祉教育の推進	30
1 児童・生徒を対象にした「福祉教育」の推進	30
2 ボランティアセンター登録状況	30
3 災害救援ボランティア養成事業	31
4 球磨ブロック社協災害ボランティアセンター設置訓練	31
5 災害ボランティアセンター	31

VII	在宅福祉サービス事業	32
1	デイサロン事業	32
2	地域包括支援センター	32
3	居宅介護支援事業	33
4	訪問介護事業	34
5	障害者総合支援法関係事業	34
VIII	共同募金	35
1	赤い羽根共同募金	35
2	歳末たすけあい運動	36
IX	その他の事業	37
1	人吉市総合福祉センター利用状況	37
2	介護用機器の貸出	37
3	善意銀行	37
4	各種団体の事務局	38
X	資料	38
1	会費の実績	38
2	寄附・香典返し	38
3	団体等の受入	38
4	実習生の受入	38

I 総括

平成から令和へと新しい時代に入り、本会は「地域福祉の中核団体」として住民参加や協働による福祉活動の支援を行い、住民ニーズに応じたきめの細かい事業展開を目指しています。

また、今年度は第3次地域福祉活動計画の第2年度にあたり、人吉市が策定した地域福祉計画と校区社協の活動計画との3つの計画を一体的に運用しています。事業の推進にあたっては、行政・共同募金会などの関係機関及び校区社協、町内会長連合会、民生委員児童委員協議会、くらし見守り相談員連絡協議会、老人クラブ連合会、ボランティア連絡協議会など多くの団体・個人の協力により地域共生社会の実現を目指しました。

しかし、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症は、波状の感染を繰り返しながら拡大し、まん延防止等重点措置が何度も発令されました。そのため、地域活動・社会生活にとって最も重要な、「人が動くこと」「人が集まること」が大きく制限される結果となり、多くの事業が中断、休止を余儀なくされました。

さらに、本市においては令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興が大きな地域課題となっています。浸水被害を受けた地区においては、住まいの再建や、なりわいの復興が進んでいますが、未だ仮設住宅等で生活されている被災者も多く、復旧復興はまだ道半ばであり、地域コミュニティの再興はすすんでいません。

これらの影響を受けて、主要事業が中断、休止に追い込まれたため、基本的な日常活動しか行えず、当初計画したような発展的な活動推進はほとんどできませんでした。

II 理事会・評議員会等

1 理事会

開催日	出席者	会議の内容
令和3年 6月15日	11名	令和2年度人吉市社会福祉協議会第6次流用予算の専決処分について（報告） ①令和2年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業報告について ②令和2年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会収支決算監査報告 ③令和3年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第1次補正予算案について ④社会福祉法人人吉市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について ⑤社会福祉法人人吉市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について ⑥評議員選任・解任委員会の開催について 令和2年度人吉市善意銀行事業報告
令和3年 6月30日	12名	①会長の選任について ②副会長の選任について ③常務理事の選任について
令和3年12月10日	10名	①会長及び常務理事の職務執行状況の報告について ②令和3年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第2次補正予算案について ③社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事務局嘱託職員・臨時職員就業規則の一部改正について ④社会福祉法人人吉市社会福祉協議会評議員会の開催について
令和4年 3月22日	12名	①令和3年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第3次補正予算案について ②令和4年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業計画案について ③令和4年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会当初予算案について ④社会福祉法人人吉市社会福祉協議会定款の一部改正について ⑤社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事務局職員就業規則の一部改正について ⑥社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事務局職員給与・退職手当規程の一部改正について ⑦社会福祉法人人吉市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の一部改正について ⑧社会福祉法人人吉市社会福祉協議会嘱託職員・臨時職員就業規則の一部改正について ⑨社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業所職員就業規則の一部改正について ⑩社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業所嘱託職員就業規則の一部改正について ⑪社会福祉法人人吉市社会福祉協議会苦情解決第三者委員の選任について ⑫評議員の開催について 第3次人吉市地域福祉活動計画の進捗及び評価について

2 評議員会

開催日	出席者	会議の内容
令和3年 6月29日	14名	令和2年度人吉市社会福祉協議会第6次流用予算の専決処分について（報告） ①令和2年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業報告について ②令和2年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会決算報告監査報告 ③令和3年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第1次補正予算案について ④理事の選任について ⑤監事の選任について
令和3年12月24日	15名	①令和3年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第2次補正予算案について ②社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事務局嘱託職員・臨時職員就業規則の一部改正について
令和4年 3月29日	17名	①令和3年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第3次補正予算案について ②令和4年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業計画案について ③令和4年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会当初予算案について ④社会福祉法人人吉市社会福祉協議会定款の一部改正について ⑤社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事務局職員就業規則の一部改正について ⑥社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事務局職員給与・退職手当規程の一部改正について ⑦社会福祉法人人吉市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の一部改正について ⑧社会福祉法人人吉市社会福祉協議会嘱託職員・臨時職員就業規則の一部改正について ⑨社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業所職員就業規則の一部改正について ⑩社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業所嘱託職員就業規則の一部改正について ⑪社会福祉法人人吉市社会福祉協議会苦情解決第三者委員の選任について 第3次人吉市地域福祉活動計画の進捗及び評価について

3 評議員選任・解任委員会

開催日	出席者	会議の内容
令和3年6月17日	6名	人吉市社会福祉協議会評議員の選任について

4 監査

開催日	出席者	会議の内容
令和3年 5月24日	2名	令和2年度 業務執行状況並びに経理状況について
令和3年11月24日	2名	令和3年度 上半期業務執行状況並びに経理状況について

Ⅲ 専門部会活動

1 企画財政部会

開催日	出席者	会議の内容
令和3年6月4日	8名	①令和2年度人吉市社会福祉協議会第6次流用予算書の専決処分について(報告) ②令和2年度人吉市社会福祉協議会事業報告 ③令和2年度人吉市社会福祉協議会収支決算報告 ④令和3年度人吉市社会福祉協議会第1次補正予算案について ⑤令和2年度人吉市善意銀行事業報告 ⑥各部会からの連絡事項
令和3年6月18日	6名	①部会長・副部会長・書記の選任について ②歳末たすけあい演芸会の開催について
令和3年12月3日	8名	①令和3年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第2次補正予算案について ②部会からの連絡事項
令和4年3月11日	9名	①令和3年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第3次補正予算案について ②令和4年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会事業計画について ③令和4年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会当初予算案について 令和3年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第2次流用予算の専決処分について 令和3年度社会福祉法人人吉市社会福祉協議会第3次流用予算の専決処分について 各部会からの連絡事項

2 地域福祉部会

傾聴についての研修を受け、支え合いセンターが主催する建設型仮設住宅のオープンカフェにて傾聴活動を行いました。

開催日	出席者	会議及び行事の内容
令和3年6月11日	11名	第1回地域福祉部会 部会委員の委嘱、部会役員の互選、今後の活動についての協議など
令和3年6月17日	3名	第1回地域福祉部会3役会 仮設住宅訪問についての協議
令和3年7月12日	11名	地域福祉部会全体研修 ①人吉市地域支え合いセンターについて ②傾聴について
令和3年7月16日	6名	傾聴研修 ・ボランティア連絡協議会との合同研修
令和3年7月30日	6名	傾聴研修 ・ボランティア連絡協議会との合同研修
令和3年9月14日	3名	下原田第一仮設訪問
令和3年9月16日	2名	人吉城跡仮設訪問
令和3年9月21日	2名	西間第一仮設訪問
令和3年9月21日	1名	村山公園仮設訪問
令和3年9月24日	2名	石野公園仮設訪問

令和3年10月21日	10名	第2回地域福祉部会 ・オープンカフェ参加の振り返りと今後の活動について
令和3年11月11日	1名	人吉城跡仮設訪問
令和3年11月16日	2名	下原田第一仮設訪問
令和3年11月26日	2名	石野公園仮設訪問
令和3年12月21日	1名	村山公園仮設訪問
令和4年3月30日	9名	第3回地域福祉部会 ・令和4年度の部会活動について

3 児童福祉部会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため夏のボランティア体験行事は中止となりましたが、昨年度に引き続き児童に向け福祉読本の作成を計画し取り組みました。令和4年3月末に完成し、令和4年度に配布を開始しました。

開催日	出席者	会議及び行事の内容
令和3年4月23日	3名	第1回児童福祉部会三役会 ①令和2年度事業報告・令和3年度事業計画（案）について ②令和2年度夏のボランティア体験行事等について ③児童福祉部会開催について
令和3年5月14日	10名	第1回児童福祉部会 ①令和2年度事業報告・令和3年度事業計画（案）について ②令和2年度夏のボランティア体験行事等について
令和3年6月10日	11名	第2回児童福祉部会 ①委嘱状交付 ②部会長・副部会長・書記の互選 ③令和3年度の活動について
令和3年6月21日	5名	第1回福祉読本編集会議 福祉読本について
令和3年7月5日	13名	第3回児童福祉部会 福祉読本の編集について
令和3年7月26日	5名	第2回福祉読本編集会議 紹介するボランティア団体について インタビュー結果報告
令和3年7月29日	11名	第4回児童福祉部会 福祉読本の編集について
令和3年8月30日	5名	第3回福祉読本編集会議 紹介するボランティア団体について
令和3年9月29日	7名	第4回福祉読本編集会議 民生委員児童委員についての内容確認 団体紹介、各学校の取り組みについての内容確認
令和3年10月13日	3名	第2回児童福祉部会三役会 ①「福祉ってなんだろう」②「ボランティアってどういうこと？」
令和3年10月22日	7名	第5回福祉読本編集会議 各項目の表題、福祉に関する内容についての検討
令和3年10月28日	13名	第5回児童福祉部会 辞令交付 部会長選出 福祉読本の編集について
令和3年11月8日	7名	第6回福祉読本編集会議 各項目の表題、福祉に関する内容についての検討
令和3年11月29日	4名	第7回福祉読本編集会議 項目内容についての検討
令和3年12月7日	7名	第8回福祉読本編集会議 項目内容についての検討
令和3年12月20日	3名	第3回児童福祉部会三役会 ①各項目内容について②予算・印刷部数について③配布までの日程について

令和4年1月7日	3名	第4回児童福祉部会三役会 ①内容について②予算・印刷部数について③配布までの日程について
令和4年1月13日	7名	第9回福祉読本編集会議 項目内容の確認
令和4年1月20日	10名	第6回児童福祉部会 ①福祉読本の内容について②発行部数について③今後の予定について
令和4年2月17日	3名	第5回児童福祉部会三役会 ①福祉読本 修正箇所の確認②今後の校正について
令和4年3月11日	3名	第6回児童福祉部会三役会 ①福祉読本 修正箇所の確認②冊子振り分けの日程について ③令和4年度の活動について④次回部会について

4 調査広報部会

タイムリーな福祉情報を届けるため隔月（年6回・8ページ）に発行し、社協が行っている事業やサービスの案内や、様々な地域活動の取り組みを紹介しました。また、7月の豪雨災害に係る数多くの支援物資や寄付などの紹介も掲載しました。

開催日	出席者	会議及び行事の内容
令和3年4月8日	3名	205号2校
令和3年4月15日	3名	205号3校
令和3年5月7日	5名	入札説明会
令和3年5月27日	6名	206号初校
令和3年6月10日	8名	206号2校、委嘱状交付、役員選出
令和3年6月17日	3名	206号3校
令和3年7月2日	3名	さくらの会情報交換会
令和3年7月29日	9名	207号初校
令和3年8月5日	3名	207号2校
令和3年8月16日	3名	207号3校
令和3年9月28日	8名	208号初校
令和3年10月7日	2名	208号2校
令和3年10月14日	3名	208号3校
令和3年12月9日	7名	209号初校
令和3年12月16日	3名	209号2校
令和3年12月27日	3名	209号3校
令和4年1月27日	10名	210号初校
令和4年2月3日	3名	210号2校
令和4年2月10日	3名	210号3校
令和4年3月24日	8名	211号初校

IV 校区社協活動

1 各校区の実績

各校区社協では、少子高齢化、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加する中、校区内の町内会、民生児童委員、くらし見守り相談員などの関係者が連携して、小地域ネットワーク活動、ミニサロン、老人給食ボランティア、子ども食堂等を実施する他、生活支援体制整備事業の取り組みも地域の特色を活かして事業を進められています。長引くコロナ禍により、活動が制限されましたが、そのような中でも可能な限り活動を継続しました。

①東校区

行事名	主な内容
校区社協総会	コロナ禍により中止、書面議決
役員会等 監査	<ul style="list-style-type: none"> 4月 9日（金） ・ 会計監査 4月26日（月） ・ 総会打ち合わせ 5月7日（金） ・ 総会資料確認 5月10日（月） ・ 総会資料書面発送 6月21日（金） ・ 今後の事業推進について 7月21日（水） ・ 三者協議（校区社協、民生委員、くらし見守り相談員） 10月18日（月） ・ 校区社協だよりについて 11月22日（月） ・ 三者協議（校区社協、民生委員、くらし見守り相談員） 12月20日（月） ・ 校区社協だより、研修会について 3月22日（火） ・ 三者協議（校区社協、民生委員、くらし見守り相談員）、総会について
ボランティア活動支援 6月15日（火）	・ 仮設住宅との交流支援（熊本学園大学福祉学部）
ネットワーク推進会議 （町内単位で開催）	南寺町（2回）、新町（1回）、五日町（2回）、上新町（2回） 北願成寺町（2回）、南願成寺町（2回）、南泉田町（1回）
ミニサロン （町内単位で開催）	上新町（2回）、南願成寺町（1回）
子どもと高齢者の交流事業 校区社協だより発行（2回）	コロナ禍により実施なし R3年11月1日、R4年3月31日

②西校区

行事名	主な内容
校区社協総会	5月25日（火）コロナ禍により理事のみの出席
役員会等 監査 5月11日（火） 5月17日（月）	・会計監査 ・役員会
ネットワーク推進会議 （町内会単位で開催）	城本町（2回）、井ノ口町（1回）、中青井町（1回）、上青井町（1回） 駒井田町（2回）、下青井町（1回）
ミニサロン （町内単位で開催）	下青井町（1回）、中青井町（1回）、城本町（2回）
ノルディックウォーク 4月8日（木） 9月25日（土）	・ノルディックウォーク体験会 ・ノルディックウォーク大会（村山公園一帯）
地域ふれあい事業	合ノ原町：地域サロン（よけまん会） 井ノ口町：八幡さん清掃 瓦屋町：縁がわサロン（かたらんね～、ころばん体操） 城本町：誕生日祝い 駒井田町：敬老会 上青井町：防災について話し合い 中青井町：地域のサロン 下青井町：下青井町会館台所、コンロ購入 鶴田町：折り畳みチェア、台車購入
子育て支援事業 （ニコニシ食堂） ※コロナ禍により 弁当配布とする	・4月24日（土）スタッフ12名、弁当100食配布 ・5月22日（土）スタッフ10名、弁当100食配布 ・6月26日（土）スタッフ11名、弁当100食配布 ・7月24日（土）スタッフ13名、弁当100食配布 ・8月28日（土）スタッフ9名、弁当100食配布 ・9月18日（土）スタッフ12名、弁当100食配布 ・10月23日（土）スタッフ12名、弁当100食配布 ・11月27日（土）スタッフ11名、弁当100食配布 ・12月25日（土）スタッフ12名、弁当100食配布 ・2月26日（土）スタッフ10名、弁当100食配布 ・3月26日（土）スタッフ15名、弁当100食配布

③東間校区

行事名	主な内容
校区社協総会	コロナ禍により中止、書面議決
役員会等 監査 4月16日（金） 9月10日（金） 10月8日（金） 11月25日（木） 3月8日（火） 3月18日（金）	・会計監査、役員会 ・生活支援体制整備事業について協議 ・生活支援体制整備事業について協議 ・生活支援体制整備事業について協議 ・生活支援体制整備事業について協議 ・生活支援体制整備事業について協議
ネットワーク推進会議 （町内会単位で開催）	西間上町（1回）、西間下町（1回）、古仏頂町（1回）、藪野町（1回） 東間上町（2回）、浪床町（2回）、蟹作町（1回）、七地町（1回） 田野町（1回）
ミニサロン	・浪床町（1回）、蟹作町（1回）、七地町（1回）
老人給食ボランティア 4月5日（月） 4月19日（月） 10月4日（月） 10月18日（月） 11月1日（月） 11月15日（月）	コロナ禍により不定期開催となった。 対象者数38名、ボランティア数17名 対象者数39名、ボランティア数17名 対象者数41名、ボランティア数15名 対象者数41名、ボランティア数14名 対象者数40名、ボランティア数15名 対象者数41名、ボランティア数16名 実施回数計6回、対象者計240名、ボランティア計94名
子育て支援事業	新生児お祝い品進呈 7町内16名
子ども育成事業	なし
校区社協だより発行	なし

④大畑校区

行事名	主な内容
校区社協総会	コロナ禍により中止、書面議決
役員会等 監査	<ul style="list-style-type: none"> 4月10日（土） ・ 会計監査 4月24日（土） ・ 総会等の実施について、事業実施報告について等 5月12日（水） ・ 総会書面議決について資料の確認等 10月2日（土） ・ 10月以降の取り組みについて 10月20日（水） ・ 合同役員会 1月22日（土） ・ 校区社協の事業について、行事予定の確認等 2月12日（土） ・ 地域支え合い推進会議について等 3月12日（土） ・ ネット会議開催状況について、理事会について等
ネットワーク推進会議 （町内会単位で開催）	大畑町・柴笠（2回）、東・上・下漆田町（2回）、上・下田代町（2回） 大畑麓町・小川内（2回）、大野町（2回）、矢岳町（1回）
ミニサロン （町内会単位で開催）	大畑町・柴笠1回）、大野町（1回）、大畑麓町・小川内（1回） 上・下田代町（1回）
校区社協だより発行（2回）	7月1日（木）・12月1日（水）

⑤西瀬校区

行事名	主な内容
校区社協総会	コロナ禍により中止、書面議決
役員会等 監査	<ul style="list-style-type: none"> 4月9日（金） ・ 総会の内容について協議 4月16日（金） ・ 会計監査、総会の内容について協議 5月7日（金） ・ 総会の内容について協議 5月10日（月） ・ 総会資料確認、製本など 9月14日（火） ・ 研修先についての協議 11月6日（土） ・ 事業経過について協議
ネットワーク推進会議 （町内会単位で開催）	下戸越町（2回）、下城本町（2回）、下薩摩瀬町（2回）、永野町（1回） 相良町（1回）
ミニサロン （町内会単位で開催）	コロナ禍により中止
校区社協だより発行（1回）	3月23日（水）

⑥中原校区

行事名	主な内容
校区社協総会	コロナ禍により中止、書面議決
役員会等 監査 4月3日(土) 5月21日(金) 11月6日(土) 3月15日(火)	・会計監査 ・総会について ・なかはら生活支援応援団有料化について ・次年度事業計画について
ネットワーク推進会議 (町内単位で開催)	上林1区(1回)、中林町(1回)、下林町前村(2回)、下林町2区(1回) 中神町城本(2回)、中神町大柿(1回)、中神町小柿(2回) 下原田荒毛(1回)、下原田町嵯峨里(2回)、下原田町堀(2回) 下原田町西門(2回)、上原田町菖蒲(1回)、上原田町尾曲(2回)
ミニサロン (町内会単位で開催)	下原田町荒毛(1回)、下原田町堀(1回)
老人給食ボランティア 4月14日(水) 9月8日(水) 10月13日(水) 11月10日(水) 11月24日(水) 12月8日(水) 1月12日(水) 3月9日(水)	対象者数40名、ボランティア数15名 対象者数41名、ボランティア数16名 対象者数42名、ボランティア数14名 対象者数47名、ボランティア数13名 対象者数48名、ボランティア数13名 対象者数46名、ボランティア数14名 対象者数52名、ボランティア数15名 対象者数52名、ボランティア数15名 実施回数計8回、対象者計368名、ボランティア計115名
校区社協だより(1回)	R4年4月1日

⑦校区社協連絡協議会関係

行事名	主な内容
監査	4月5日(月)会計監査
役員会3回 4月9日(金) 5月27日(木) 11月11日(木)	・事業報告、決算報告、監査報告 ・役員改選、定例会議題など ・社協長会議…助成金、負担金納入について、校区社協活動計画について ・各校区取組状況報告、全体研修について ・各校区社協から諸報告書提出について
定例会回 4月13日(火) 6月4日(金) 11月30日(火) 3月18日(金)	・事業報告・決算、監査報告 ・決算報告 ・進捗状況報告、第1回全体研修会 ・進捗状況報告、第2回全体研修、事業計画(案)

2 小地域ネットワーク

各町内ごとに下記のネットワーク（見守り）対象者の方々が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、見守りの支え合い活動を行いました。

R4年3月末現在（単位：人）

ネットワーク数	人口・割合				65歳以上		ネットワーク対象者		
	男	女	合計	割合	人口	割合	男	女	合計
東校区	3,736	4,458	8,194	26.6%	2,842	34.7%	61	184	245
西校区	2,347	2,831	5,178	16.8%	2,100	40.6%	27	102	129
東間校区	2,651	2,985	5,636	18.3%	2,076	36.8%	48	150	198
大畑校区	697	793	1,490	4.8%	682	45.8%	23	81	104
西瀬校区	2,002	2,253	4,255	13.8%	1,654	38.9%	33	83	116
中原校区	2,799	3,211	6,010	19.5%	2,242	37.3%	52	102	154
合計	14,232	16,531	30,763	-	11,596	37.7%	244	702	946

ネットワーク対象者は原則として、下記の中から特に見守りが必要な人とされる方です。

- 1 75歳以上の一人暮らし
- 2 高齢者のみ世帯（元気な場合概ね80歳以上、病気がち75歳以上）
- 3 3ヶ月以上の寝たきり高齢者
- 4 認知症及び認知症状がみられる者
- 5 昼間一人暮らし高齢者（概ね80歳以上）
- 6 障がい者等
- 7 町内の推進会議で見守りが必要と認められた人

3 ミニサロンの開催状況

ネットワーク対象者と援助者との交流の場として、町内単位で実施しました。

	人口 人	ネットワーク 対象者 人	ミニサロンの 回数 回	対象者の 出席者数 人	援助者の 出席者数 人	出席者数 総数 人	1回平均 出席者数 人
東校区	8,194	245	3	32	17	49	25
西校区	5,178	129	4	90	14	104	52
東間校区	5,636	198	3	40	20	60	30
大畑校区	1,490	104	4	53	34	77	39
西瀬校区	4,240	116	0	0	0	0	0
中原校区	6,025	154	2	25	12	37	19
合計	30,763	946	16	240	97	327	20

4 給食ボランティア事業

75歳以上のひとり暮らしの高齢者で食事の準備に苦労されている方や、重度の身体障害者の方等を対象に、訪問給食サービスを実施しました。配食を希望される方々からは大変評判もよく、毎回楽しみに待っておられます。また、地域のボランティアの方々の活躍の場ともなっています。

		4月	5月	6月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東間校区	回数	2				2	2					6
	対象者数	77				82	81					240
	VO数	34				29	31					94
中原校区	回数	1			1	1	2	1	1		1	8
	対象者数	40			41	42	95	46	52		52	368
	VO数	15			16	14	26	14	15		15	115
合計	回数	3			1	3	4	1	1		1	14
	対象者数	117			41	124	176	46	52		52	608
	VO数	49			16	43	57	14	15		15	209

V 地域福祉事業の推進

1 安心生活応援団

地域住民が安心して暮らせるように、各事業所に協力いただき地域の方への声かけや、異変の発見など日常業務の範囲内で行っていただいています。昨年豪雨災害で被災し再建された事業所の方々にも引き続きご協力いただくことができました。

また、応援団事業所の従業員向けに「はっぴー通信」を発行し、見守り活動に役立つ社会資源等の情報発信・啓発に努めました。

令和4年3月末現在の登録事業所数 152 件

2 買い物支援事業

近くに商店がない、交通手段がないなどの理由で買い物に困っている方を対象に、商店街と連携し、商品をお届けするサービスです。宅配だけを目的とせず、訪問時の声かけ・安否確認や困りごとの解消も行っています。

地域包括支援センター、成年後見センターとの連携により利用者の情報共有やサービス利用について連携が図れました。特にサービス利用については必要性がある方へ迅速に利用方法などを説明できました。

宅配サービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	147	147	152	152	154	156	159	160	161	165	169	170	
利用者数	55	53	53	54	56	56	58	62	58	58	55	59	
宅配回数	191	164	191	184	184	184	189	198	195	195	166	214	2,255 回
見守り訪問	81	21	21	44	46	27	103	31	35	35	57	28	529 回

【ちょっとしたお困りごとの件数と内容】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	11	10	6	10	7	4	7	10	4	6	9	10	94
内容	ウォーターサーバーのボトル替え、灯油入れ、ゴミ出し、蛍光灯の交換、マットのすべり止め設置、瓶の蓋あけ、ポットの水入れ、洋服の着脱手伝い、ペットボトルの蓋あけ、携帯電話の操作確認、電子辞書の電池替え、郵便書類の確認、カセットボンベのガス抜き、電話の対応、米を米櫃に入れる、布団のカバー掛け、薬の振り分け												

3 ふれあいサービス

地域住民参加型の在宅福祉有償サービスである「ふれあいサービス事業」は介護保険など公的サービスの補完的な役割を担っており、令和3年度利用会員は2名、協力会員は1名でした。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス時間	4	5	4	5	4	4	5	4	4	4	4	3	50
回数	4	5	4	5	4	4	5	4	4	4	4	3	50
実利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
実協力者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス内容	家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事	家事

4 ファミリーサポートセンター

令和4年3月31日現在の会員数は依頼会員67名、協力会員26名、両方会員2名、合計95名となる。令和3年度も前年度に引き続き新型コロナウイルス対策用備品の貸し出しなど感染症に対する対策を行っています。

令和3年度活動実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数(件)	1	3	20	18	15	9	20	12	27	18	23	16	182
平日(回)	1	3	20	17	15	9	20	12	27	18	21	16	179
土・日・祝日(回)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	3
延べ時間(時間)	1.2	1.7	16.6	18.1	13.6	6.5	13.9	8.4	22.5	12.3	18.9	20.3	154
依頼会員数(実人数)	1	1	2	1	2	2	2	3	2	2	2	4	7
協力会員数(実人数)	1	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	4	5

5 くらし見守り相談員事業

今年度は任期満了に伴う一斉改選の年で、令和4年3月31日現在、86名(定員91名)の方が委嘱を受け活動されています。

37名が新任の方で、11月に全体研修、新任者研修を行いました。

豪雨災害による環境の変化やコロナ禍で活動が難しい時期もありましたが、民生委員児童委員と連携しながら地域の見守り活動を行っています。

①見守り活動件数

校区/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
東校区	294	339	316	281	265	272	271	281	267	251	260	253	3,350
西校区	184	130	138	142	145	143	143	122	139	150	128	141	1,705
東間校区	169	193	187	196	175	166	148	134	175	152	132	161	1,988
大畑校区	70	105	152	141	146	137	145	124	124	97	119	111	1,471
西瀬校区	71	85	130	120	123	124	118	125	135	71	84	100	1,286
中原校区	92	117	206	196	192	212	199	175	145	96	132	152	1,914
合計	880	969	1,129	1,076	1,046	1,054	1,024	961	985	817	855	918	11,714

※ 1ヶ月一人当りの平均活動件数：11.3件(前年9.4件)

②連絡協議会の活動

期日	会議等	内容
4月2日	会計監査	会計監査
4月9日	第1回役員会	・令和2年度 事業報告・決算報告・監査報告について ・令和3年度 事業計画(案) 予算(案)
4月12日	第1回理事会	・令和2年度 事業報告・決算報告・監査報告について ・令和4年度 事業計画(案) 予算(案) ・委嘱状交付式について
4月19日	東校区委嘱状交付式	・委嘱状交付 ・支部役員選任 ・新任相談員研修

4月19日	西校区委嘱状交付式	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付 ・支部役員選任 ・新任相談員研修
4月20日	東間校区委嘱状交付式	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付 ・支部役員選任 ・新任相談員研修
4月20日	大畑校区委嘱状交付式	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付 ・支部役員選任 ・新任相談員研修
4月21日	西瀬校区委嘱状交付式	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付 ・支部役員選任 ・新任相談員研修
4月21日	中原校区委嘱状交付式	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付 ・支部役員選任 ・新任相談員研修
4月22日	第2回理事会兼総会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度 事業報告・決算報告・監査報告について ・令和3年度 事業計画（案）予算（案） ・役員選任 ・規約の一部改正について
6月18日	第2回役員会	<ul style="list-style-type: none"> ・総会報告 ・全体研修について
6月25日	第3回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・総会報告 ・全体研修、新任者研修について ・支部活動について
11月25日	第1回全体研修 及び 新任者研修 (東校区・大畑校区)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を狙う詐欺被害について ・認知症サポーター養成講座 等 (22名)
11月26日	第1回全体研修 及び 新任者研修 (西校区・西瀬校区)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を狙う詐欺被害について ・認知症サポーター養成講座 等 (23名)
11月27日	第1回全体研修 及び 新任者研修 (東間校区・中原校区)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を狙う詐欺被害について ・認知症サポーター養成講座 等 (21名)
R4年3月23日	第4回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業計画（案） ・会議日程調整、総会検討

6 生活支援体制整備事業

コロナ禍による活動自粛が強られる中、校区ごとの特徴を生かした取り組みが行われました。また、生活支援コーディネータ連携会議では、進捗状況報告の他に、事例検討等を通しコーディネーター同士活発な意見交換ができました。次年度は、未整備校区については整備完了を目指すと共に、引き続き各校区の特徴を生かした取り組みを推進していきます。

東校区	<p>互助委員会を開催し、その中から実行委員会をつくり、支援内容の検討を行いました。1人暮らし高齢者と高齢者のみ世帯を対象にアンケートを作成、民生委員協力のもと聞き取り調査を行いました。次年度は結果をもとに、支援体制を構築していきます。</p> <p>7月7日 互助委員会役員会 7月28日 拠点の整備（備品搬入） 8月3日 互助委員会定例会 9月13日 互助委員会実行委員会 11月5日 互助委員会実行委員会</p>
西校区	<p>定例会、サロン、カフェと定期的に開催することができています。令和2年7月豪雨で拠点が被災しましたが、9月に約1か月間改修工事が行われました。</p> <p>拠点で開催されているカフェだけでなく、鶴田町や村山公園仮設団地にて出張型の「おでかけカフェ」を開催しました。毎週木曜日は拠点到コーディネーターが常駐し、気軽に立ち寄れるサロンのようになっています。毎月開催されるニコシカフェには、被災され仮設団地にお住まいの方も参加されました。コーラスや味噌づくり、金山寺納豆づくりなど拠点での活動が活発に行われました。</p> <p>4月1日 ニコシ支え合い部会定例会 4月8日 ノルディックウォーキング、ニコシサロン 4月15日 ニコシサロン 4月22日 ノルディックウォーキング、ニコシカフェ 4月30日 ノルディックウォーキング 5月6日 ニコシ支え合い部会定例会 5月13日 ニコシサロン 5月20日 ニコシサロン 6月3日 ニコシ支え合い部会定例会 6月10日 ニコシサロン、おでかけカフェ（鶴田町） 6月24日 ニコシカフェ 7月1日 ニコシ支え合い部会定例会 7月8日 ニコシサロン 7月15日 ニコシサロン 7月22日 ニコシカフェ 8月5日 ニコシ支え合い部会定例会 8月12日 ニコシサロン 8月19日 ニコシサロン 8月26日 ニコシカフェ 9月2日 ニコシ支え合い部会定例会 ※9月3日～9月末まで改修工事のため拠点の使用が出来なかった。 9月25日 お出かけカフェ（村山公園仮設団地）、ノルディックウォーキング 10月7日 ニコシ支え合い部会定例会 10月28日 ニコシカフェ 11月8日 ニコシ支え合い部会定例会・味噌づくり 11月25日 ニコシカフェ 12月3日 ニコシ支え合い部会定例会、金山寺納豆づくり 12月16日 ニコシサロン（コーラス） 12月23日 ニコシカフェ 1月6日 ニコシ支え合い部会定例会 3月24日 ニコシカフェ</p>

東間校区	<p>生活支援コーディネーターと活動拠点がまだ決まっていない為、校区社協が中心になり会議を行いました。</p> <p>社会福祉事業団と共同で、移動支援体制を構築するために、大塚、田野地区を対象に困りごとについて聞き取りを行いました。試走、道路状況の確認を行い、〇〇〇</p> <p>次年度は、月に1回～2回買い物をも目的とした移動支援を実施し、生活支援コーディネーターも選任します。</p> <p>9月10日 校区社協3役で移動支援について協議 10月8日 校区社協、社会福祉事業団、中山間部町内会長で協議 11月25日 大塚・田野地域町内会長等へ移動支援に係る聞き取り調査依頼 3月8日 校区社協3役、社会福祉事業団、聞き取り調査結果の確認 3月18日 校区社協3役、移動支援に係る送迎ルートについて協議 3月29日 大塚・田野地区にて実地調査</p>
大畑校区	<p>町内会長の交代等もあり、校区町内を6つの区域に分け、これまでの取り組みや校区社協、生活支援体制整備事業について説明会を開催しました。</p> <p>しかし、コロナ禍により会議等を開催することが難しく、具体的な取り組みが出来ていません。今後は、協議体「地域支え合い推進会」の会議の開催と各町内に「町内支え合い推進会」の設置、双方が連携した活動支援を展開していきます。</p> <p>10月20日 地域支え合い推進会</p>
西瀬校区	<p>活動拠点が決まっていない為、社協で会議を行っています。9月に生活支援コーディネーターが決まりました。コーディネーターが中心となり、花の寄せ植え会や、小さなサロンの定期開催など居場所づくりや、近隣住民同士の関わりの場をつくりました。</p> <p>10月22日 西瀬の会定例会及び研修</p>
中原校区	<p>支え合いセンターなかはらだよりの発行と支え合い部会の開催は定期的に行っています。</p> <p>被災した地域のコミュニティの再生、居場所づくりの一環として開催している「おかえりなさい〇〇町」は7回行いました。</p> <p>昨年度より取り組んでいた「なかはら生活支援応援団」の有料化については、11月に協力会員の研修会を開催し、有料化に向けての支援の流れ等の確認を行い、令和4年1月1日から有料化となりました。</p> <p>4月3日 支え合い部会3役会 4月4日 おかえりなさい温泉町 4月8日 なかはら支え合い部会 4月28日 支え合い部会3役会 5月14日 なかはら支え合い部会 6月11日 なかはら支え合い部会 6月20日 おかえりなさい下林町 6月25日 支え合い部会3役会 7月9日 なかはら支え合い部会 7月25日 おかえりなさい下林町 7月28日 支え合い部会3役会 8月18日 支え合い部会3役会 8月19日 なかはら支え合い部会 8月26日 支え合い部会3役会 9月5日 おかえりなさい中神町 9月10日 なかはら支え合い部会 9月23日 支え合い部会3役会 10月8日 なかはら支え合い部会 10月24日 おかえりなさい中神町小柿 10月27日 支え合い部会3役会 11月6日 なかはら生活支援応援団の有料化に向け校区社協評議員会 11月12日 なかはら支え合い部会 11月14日 おかえりなさい下原田町瓜生田 11月27日 中原生活支援応援団研修会 11月27日 支え合い部会3役会 12月10日 なかはら支え合い部会 12月19日 おかえりなさい中神町大柿</p>

1月13日	支え合い部会3役会
1月26日	支え合い部会3役会
2月23日	支え合い部会3役会
3月10日	なかはら支え合い部会
3月24日	支え合い部会3役会

【生活支援コーディネーター連携会議】

第1回	4月30日	各校区活動報告、行事予定の確認、事例検討、意見交換などを行い、各校区の 情報を共有しました。 担当校区以外の行事にも参加し、コーディネーター間の連携を図りました。
第2回	5月28日	
第3回	6月30日	
第4回	7月29日	
第5回	9月29日	
第6回	10月29日	
第7回	11月26日	
第8回	12月24日	
第9回	3月30日	

7 人吉球磨成年後見センター

令和3年度は中核機関を委託設置し、受任調整以外の役割を担いました。なお中核機関の委託設置に伴い協議体を設立する予定でしたが、コロナ感染症対策の観点から市町村や関係機関等との十分な協議ができず設立には至りませんでした。集合型の協議や巡回型のヒアリングができにくい期間が続いたので、オンラインで各市町村と各市町村社協の成年後見事業担当者に対し現状の聞き取りや意見交換を行いました。

さらに令和3年度は、親族後見申立を検討中の方、既に親族後見人になっておられる方を対象に、2か月に1回ずつ親族後見相談会を実施しました。

令和3年度の市民後見人養成講座の基礎編の修了者は13名、実践編の修了者は12名で、そのうち人材バンク登録者（法人後見支援員登録者）は7名でした。

○成年後見制度についての相談窓口、電話相談、訪問相談件数

来所	電話等	訪問	ケース会議	その他会議	研修会	計
200	1411	2476	8	3	0	4098

・暮らし安心法律相談会（上半期）

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
成年後見制度	1	2					3
登記（相続・贈与・財産分与・売買等）	2		1	2	2	2	9
債務整理					1		1
その他（労働トラブル、損害賠償・離婚調停や相続問題等の申立、賃貸借トラブル、契約トラブル）					1		1
苦情（近隣トラブル等）						1	1
その他（不動産契約、医療ミス、養子縁	1	1					2
合計	4	3	1	2	4	3	17

・暮らし安心法律相談会（下半期）

相談内容	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	総計
成年後見制度	1		2		1	2	6	9
登記（相続・贈与・財産分与・売買等）	2		1		1	1	5	14
債務整理			1				1	2
その他（労働トラブル、損害賠償・離婚調停や相続問題等の申立、賃貸借トラブル、契約トラブル）	2		1				3	4
苦情（近隣トラブル等）						1	1	2
その他（不動産契約、医療ミス、養子縁				1	1		2	4
合計	5	0	5	1	3	4	18	35

・親族後見相談会（2か月に1回ごとの実施）

相談件数	4月	6月	8月	10月	12月	2月	合計
	1	1	中止	1	2	1	6
合計	1	1	中止	1	2	1	6

・出張相談（随時実施）

相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	1	0	0	0	0	0	1
合計	1	0	0	0	0	0	1

相談件数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
	0	0	0	0	0	0	0	年間合計
合計	0	0	0	0	0	0	0	1

○法人後見事業

・受任状況(令和4年3月31日時点)

類型	後見	保佐	補助	計
受任件数	65	8	0	73

・新規受任、終了等(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

類型	後見	保佐	補助	終了
新規受任件数	7	3	0	11

・市民後見人活動状況(令和3年4月～令和4年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期	
実人数	21	21	21	21	21	21	実人数	21
活動回数	87	59	75	82	77	74	合計	454

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期		年間合計	
実人数	21	21	21	21	20	20	実人数	21	実人数	21
活動回数	73	72	70	78	60	63	合計	416	合計	870

※法人後見受任可否決定に際し、法人後見受任審議会を計9回開催
(構成：弁護士、医師、司法書士、社会福祉士、行政、社協代表者等)

○ 市民後見人養成事業「Ⅰ講座基礎編」（14名申込、13名修了）※日程を再調整して実施した

12月4日（土）中小企業大学校人吉校 8：30～17：10

科目	内容	講師等	単位（60分）
開校式 オリエンテーション	成年後見人養成講座開講の趣旨 及びカリキュラムについての説明	成年後見センター	0.5
高齢者・障害者の人権	基本的人権 自己決定と自己責任 人権侵害	熊本県弁護士会 奥村 高史	3
後見制度をめぐる法律	法律行為・契約、権利能力、意思能力 行為能力、代理、意思決定支援		2
2030年、人吉球磨の 様子はこう変わる	少子高齢化、人口減少等地域が抱える 現状と諸課題について（演習を含む）	（株）くまもと健康支援研究所 代表取締役 松尾 洋	2

12月5日（日）中小企業大学校 8：30～15：30

科目	内容	講師等	単位（60分）
成年後見制度概論	後見制度の基本理念と制度の概要 法人後見と市民後見人	熊本県司法書士会 木村 円香	2
法定後見	法定後見とは		2
任意後見	任意後見とは	熊本県司法書士会 硯川 剛	2

○ 市民後見人養成事業「Ⅱ講座実践編」（12名申込、12名修了）※日程を再調整して実施した

12月11日（土）中小企業大学校人吉校 8：30～15：30

科目	内容	講師等	単位（60分）
後見人と身上監護	成年後見人等の事務の範囲 後見人・保佐人・補助人の権限	熊本県社会福祉士会 田村 禎	2
財産管理の基本と 実務	財産管理についての基本的な考え方	公益社団法人成年後見センター・ リーガルサポート熊本支部 司法書士 出納 真一	2
家族法・財産法の基礎	親族法、相続法、財産法	熊本県弁護士会 益子 覚	2

12月12日（日）中小企業大学校人吉校 8：30～15：30

科目	内容	講師等	単位（60分）
認知症についての 理解と支援	認知症についての正しい理解	医療法人精翠会 精神保健福祉士 宮原 淳	2
精神障害と知的障害 についての理解と支援	精神障害、知的障がいについての 正しい理解	医療法人精翠会 精神保健福祉士 豊永 沙代	2
「人生100年 あなたや身近な 方の老後の安心設計」任意後 見契約/保佐・補助について一 緒に考えてみませんか？	本人の意思決定への関わり方について の理解	一般社団法人 熊本県社会福祉士会 認定社会福祉士 紫藤千子	2

○ 市民後見人フォローアップ研修

7月1日（木）人吉市総合福祉センター 中会議室 18：30～20：00

科目	内容	講師等	単位（60分）
相続法について①	戦前の相続を中心として①	公益社団法人成年後見センター・ リーガルサポート熊本支部 司法書士 宮本稔也	1.5

8月5日（木）人吉市総合福祉センター 中会議室 18：30～20：00

科目	内容	講師等	単位（60分）
相続法について②	戦前の相続を中心として②	公益社団法人成年後見センター・ リーガルサポート熊本支部 司法書士 宮本稔也	1.5

9月2日（木）人吉市総合福祉センター 中会議室 18：30～20：00

科目	内容	講師等	単位（60分）
相続法について③	自筆証書遺言の制度緩和	公益社団法人成年後見センター・ リーガルサポート熊本支部 司法書士 宮本稔也	1.5

10月7日（木）人吉市総合福祉センター 中会議室 18：30～20：00

科目	内容	講師等	単位（60分）
相続法について④	法務局における遺言書保管制度	公益社団法人成年後見センター・ リーガルサポート熊本支部 司法書士 宮本稔也	1.5

11月4日（木）人吉市総合福祉センター 中会議室 18：30～20：00

科目	内容	講師等	単位（60分）
成年後見制度概要	成年後見制度概要	公益社団法人成年後見センター・ リーガルサポート熊本支部 司法書士 宮本稔也	1.5

12月2日（木）人吉市総合福祉センター 中会議室 18：30～20：00

科目	内容	講師等	単位（60分）
事例検討	事例から見る後見事務	公益社団法人成年後見センター・ リーガルサポート熊本支部 司法書士 宮本稔也	1.5

○ 普及・啓発

圏域医療・福祉専門職等研修 ※権利擁護ネットワーク会議

日時	会場	内容
4月8日（木）	人吉市総合福祉センター中会議室	<ul style="list-style-type: none"> 人吉球磨成年後見センターの中核機関受託について 権利擁護ネットワーク会議の目的 人吉球磨成年後見センターの年間計画 関連団体、事業所、専門職との地域連携ネットワーク構築について
12月13日（月）	中小企業大学校 人吉校	<ul style="list-style-type: none"> 基調講演「地域連携ネットワークの構築と中核機関が果たす役割」 講師 公益社団法人成年後見センター リーガルサポート熊本支部 司法書士 井上 広子 説明「成年後見制度のための利用状況、権利など」熊本家庭裁判所 説明「権利擁護のための地域連携協議会設立に向けて」 人吉球磨成年後見センター 意見交換会 テーマ「関係機関・関係団体・関係事業所、専門職等の連携について」

市町村地域包括支援センターとの懇談会

日時	会場	内容
7月13日（火）	人吉市総合福祉センター中会議室	中核機関の受託、地域連携ネットワークの構築、ネットワークと個別案件に関わるチームでの支援の必要性

法人後見推進研修会

※コロナ感染症対策のため日程の調整ができづらく、上記の権利擁護ネットワーク会議を法人後見推進研修の一環とした

市町村消費者行政との懇談会

※コロナ感染症対策のため日程の調整ができづらく実施できなかった

制度説明・普及啓発・相談業務 ※下記の研修等一覧のとおり

○ 市民後見人定例会 ※2月予定分は熊本県独自の緊急事態宣言発令のため中止

日時	会場	出席者	内容
毎月第一木曜日18:30～	人吉市総合福祉センター小会議室	21名	活動報告及び勉強会

○ 視察研修、出張講座、研修等

日時	方法等	内容等
5月28日（金）13:00～	Web	第18回日弁連高齢者・障がい者権利擁護の集い 「権利擁護支援の中核となる相談機関を立ち上げよう！ ～成年後見制度に限らない相談窓口として～」
8月3日（火）10:30～	Web	令和3年度地域福祉権利事業生活支援員等研修会 依存症に対する理解と支援方法 ギャンブル依存
9月22日（水）13:30～	Web	阿蘇ブロック社協事務局長・福祉活動専門員等研修会 「広域的法人成年後見センターの取組について」講師として説明
10月14日（木）13:30～	Web	障害者就業・生活支援センターみなよし主催 発達症を持つ人の就労支援についての研修
12月17日（金）13:10～	Web	「成年後見制度利用促進基本計画における権利擁護支援と 本県における地域連携ネットワークの構築について」 「熊本県における成年後見制度の現状について」
2月17日（木）13:25～	Web	令和3年度市町村社協地域福祉権利擁護事業実務連絡会議 「荒尾における中核機関の取り組みについて」 「埼玉県社発 金銭管理のポイント」
2月25日（水）13:30～	Web	令和3年度社会福祉法人法令関係研修会 テーマ「利用者の権利擁護と福祉事業者が知っておくべき法律」
2月26日（土）13:30～	Web	大阪府・大阪市・堺市 三者協合同事業 令和3年度市民後見人・成年後見制度啓発シンポジウム 「大阪モデル」の市民後見人養成・活動支から今後の成年後見
2月27日（日）14:00～	Web	熊本いのちの電話オンライン講演会 「発達障がいの理解」
3月1日（火）9:30～	Web	令和3年度厚生労働省委託事業 人生の最終段階における医療体制整備事業 本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会
3月8日（火）13:00～	Web	令和3年度 任意後見・補助・保佐等の相談体制強化・広報事業 (厚生労働省委託) K-ねっと全国セミナー 福祉関係者が知っておきたい「任意後見制度」
3月18日（金）13:00～	Web	リーガルサポート意思決定シンポジウム 「後見事務における意思決定支援」
3月20日（日）14:00～	Web	令和3年度熊本県弁護士会自殺対策シンポジウム 「生きづらさと向き合う ～SOSを出すために～」
3月31日（木）13:30～	Web	龍生園居宅支援事業所・人吉市社協居宅支援事業所合同研修会 「権利擁護事業・成年後見制度について」講師として説明

○ 運営委員会（人吉市総合福祉センター）

回	日時	場所	議題
1	6月21日（月） 14：00～	中会議室	(1) 令和2年度事業報告及び決算報告について (2) 令和3年度事業計画及び予算について (3) 中核機関受託と業務内容について (4) その他 ①成年後見制度利用支援事業の拡充について ②消費税の課税に伴う予算措置について ③嘱託職員の期末手当に係る予算措置について
2	11月5日（金） 14：00～	中会議室	(1) 令和3年度上半期事業の進捗状況について (2) 令和3年度の事業計画（変更計画）について (3) その他 ①成年後見制度利用支援事業について ②令和3年度の権利擁護ネットワーク会議について ③令和3年度業務委託料変更について

○ 参加した会議・研修等

上記の視察研修、出張講座、研修等一覧のとおり

8 地域福祉権利擁護事業

本人の契約能力やその他の事情から、権利擁護事業では対応できない事例も多くなってきており、要綱を定めて、やむを得ず民法の規定により緊急事務管理で対応しているケースがありました。

権利擁護の利用契約前後ともに、支援機関間での役割の再確認・明確化が十分にできていなかったため、権利擁護係として本来の役割ではない役割までせざるを得ないケース、支援の中心にならざるを得ないケースもありました。

長期入院患者や施設入所者、意思能力の低下等により権利擁護事業では対応できなくなっている方については、ケースによっては成年後見制度への移行も検討し親族申立や市長申立についても提案・助言しました。

※契約数（令和4年3月31日現在）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
支援者数（人）	22	10	10	0	42

※生活支援員による支援回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期
支援回数（回）	113	86	103	100	111	131	644

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期	年間合計
支援回数（回）	116	120	118	124	118	145	741	1,385

9 生活困窮者自立相談支援事業

令和3年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルスによる収入減、令和2年7月豪雨被災者向け、この二つの生活福祉資金特例貸付の相談が多かったです。貸付目的の相談者は必要以上のことは話されず、課題の抽出、支援の実施にまで至らない人が多くいました。

支援調整会議については上記のような理由で検討者の数が少なかったため見送った月が3回、新型コロナウイルスによるまん延防止宣言下で書面協議となった月が4回ありました。

○実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規受付	4	8	9	9	10	4	6	6	7	9	9	8	89
支援決定（プラン）	6	0	6	6	5	3	3	0	4	0	4	6	43
終結	0	0	2	4	5	2	4	0	1	0	4	2	24
住居確保給付金 ※1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
家計改善支援事業 ※2	2	0	4	3	2	2	1	0	2	0	2	4	22
就労準備支援事業 ※3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
自立相談支援事業による就労支援	2	0	3	1	2	3	0	0	1	0	1	4	17
就労自立促進事業 ※4	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
小口福祉資金	0	2	2	0	2	0	0	0	1	0	0	1	8
レスキュー事業 ※5	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2

※1 一時的に家賃相当額を支給する事業。

※2 家計の収支状況を確認し、可視化して今後の見通しを示す事業。

※3 すぐに就労することが困難な人に対して、就労に向けた支援や機会の提供を行う事業。

※4 ハローワークの就労支援担当者と連携して就職活動を行う事業。

※5 就職や生活保護で収入があるまでの間、日常生活費（光熱費等含む）を提供する事業。

10 生活福祉資金貸付

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響による収入減となった世帯への特例貸付、緊急小口資金・総合支援資金の利用相談が多くありました。まん延防止宣言に合わせて、制度自体も延長、再延長とされ令和4年6月末まで特例貸付の申請ができるようになっています。

定期的に返済され完済された方がいた一方では、年間を通して返済がなく延滞利子まで滞納されている方も多くいます。県社協と連携し償還指導が必要です。

ア. 令和3年度貸付決定状況（単位：円）

資金区分	件数	金額
総合支援資金	0	0
福祉資金	1	116,200
教育支援資金	0	0
不動産担保型生活資金	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0
合計	1	116,200

イ. 令和3年度特例貸付申請状況（単位：円）

資金区分	件数	金額
緊急小口資金（コロナ）	43	8,200,000
総合支援資金（コロナ）	53	27,850,000
延長申請	5	2,550,000
再貸付	39	20,940,000
緊急小口資金（豪雨）	23	3,000,000
合計	163	62,540,000

ウ. 償還状況

令和3年度末貸付件数	39件	
内訳	計画どおり	4件
	計画より遅い・滞納	35件
償還免除	0件	
保留中※	1件	
償還完了	2件	
令和3年度中償還あり	10件	
令和3年度中償還なし	29件	

令和3年度償還計画（A） 18,633,026円

令和3年度償還実績（B） 902,991円

差異（A-B） 17,730,035円

元金+貸付利子

元金+貸付利子

元金+貸付利子

11 小口福祉資金貸付

本年度は高齢者の貸付が多い傾向がありました。年金だけでは足りない、もしくは突発的な支出に対応できない方に貸し出しました。

長年の滞納者の中で完済された方がいます。コロナによる給付金、災害による給付金が入ったことで返済につながったケースがありました。また、未償還のまま亡くなられた方もおり、委員会で不能欠損処分を認めていただきました。

本年度貸付（8件）	283,000円
本年度償還額	614,000円
本年度末未償還額	2,029,000円
不能欠損額	173,115円（元金 155,000円 延滞利息 18,115円）
督促状の発行 年3回（6月・9月・1月）	

12 社会福祉のつどい

市内の福祉関係者が一堂に会し、地域福祉の意義を再確認し、今後の福祉のまちづくりに向けて意識を高めるとともに、多年にわたり社会福祉事業に功績のあった方々に感謝の意を表すため、つどいを開催するものです。

	開催日 令和 年 月 日（ ）
内 容	※ コロナ禍のため開催できませんでした。

13 地域支え合いセンター

令和2年7月豪雨災害に伴い、被災者の自立再建に向けた支援を行う「人吉市地域支え合いセンター」を令和2年11月から人吉市から受託し運営を行いました。活動実績は次の通りです。

①総合相談窓口・見守り活動・生活再建支援

建設型応急住宅、市営住宅を担当する仮設班と在宅及び賃貸型応急住宅を担当する在宅班の2つの班を構成し、2人一組で訪問活動を行いました。訪問対象世帯は、市が罹災証明を発行した全世帯。

市外賃貸型応急住宅・その他の世帯については、電話・文書・訪問にて支援を行いました。また、市広報誌や災害支援に関する情報等を郵送し連絡と現状把握に努めました。

訪問時には情報提供、支援物資の配布なども行い、活動の中で課題が見つかった世帯に対しては、関係機関へのつなぎや、必要に応じてケース検討会議を開き、関係機関と連携した支援を行いました。

	対象世帯数	支援対象世帯数	支援終了世帯	令和3年度支援実施回数(延べ)
建設型仮設住宅	270	266	4	13,833
みなし仮設	352	350	2	5,481
在宅	1,941	103	1,838	8,299
市営住宅	115	112	3	2,804
その他	599	143	456	2,842
合計	3,277	974	2,303	33,259

令和4年3月末日現在

7月から建設型応急住宅において、あらゆる相談に対応するため、みんなの家に常駐し相談対応を行いました。相談来訪者がいない時間は、個別訪問を行いました。

また、熊本県コロナ感染症まん延防止等重点措置の適用期間中は、オープンカフェをなんでも相談会に変更し相談対応を行いました。

名称：なんでも相談会

会場：仮設住宅12か所（各仮設により毎月定例日を設定）

時間：10：30～14：00

回数：延べ90回

相談者：延べ227人（来所者のみ）

〈主な相談内容〉

- ・日常生活に係る様々な相談（ゴミ収集の問題、仮設住宅設備の故障、入居者同士のトラブル・人間関係）
- ・住まいの再建について、1月以降は特に災害公営住宅仮申込、建設型仮設入居希望確認書、仮設住宅供与期間延長届出書に係る相談が多くありました。

②コミュニティづくりのコーディネート

1、建設型応急住宅においては、入居者同士のコミュニティづくりのためのサロン活動（オープンカフェ）を開催しました。熊本県コロナ感染症まん延防止等重点措置の適用期間は中止（5/16～6/13、8/8～9/12、1/21～3/21）。

名称：オープンカフェ

内容：みんなの家及び集会場にて自由参加の茶話会

会場：建設型応急住宅のみんなの家及び集会場11か所

（みんなの家がない西間第三・下原田第二仮設を除く）

時間：10時30分～14時

回数：各会場月1回 延べ88回

参加者：延べ539人（仮設入居者499人、仮設外40人）

2、建設型応急住宅においては、入居者同士のコミュニティづくりのための趣味の講座を開催し、自主サークル活動へ向けた支援を行いました。自主開催により回数を増やすなど仲間づくりと趣味を通じた健康づくりができました。

①名称：編み物サークル

内容：7月からオープンカフェ時に編み物教室を開始。12月から自主サークルへ移行し、回数もそれまでの月2回から6回へと増えました。

会場：石野公園仮設（自主運営へ）・梢山グラウンド仮設

回数：延べ31回

参加者数：延べ100人

②名称：陶芸愛好会

内容：毎月2回活動支援を行っていましたが、1月から自主サークルへ移行しました。

会場：西間第一仮設

回数：延べ22回

参加者数：延べ104人

③名称：お話し会

内容：12月から自主的に開始

会場：村山公園仮設

回数：延べ31回

参加者数：延べ90人

③ボランティア団体との連絡調整

ボランティアの受け入れや支援物資の配布等について、ボランティア団体等との連絡調整を行いました。

○支援物資を多くの団体から受け入れ、在宅、仮設と公平に配布しました。

○熊本県コロナ感染症まん延防止等重点措置の適用期間は、原則ボランティアの受け入れは中止しました。

主な内容：炊き出し、お茶会、傾聴、踊り、演奏、物資配布等

主なボランティア団体等：市ボランティア連絡協議会、熊本学園大学、
日本九援隊、日本防災士会、人吉警察署、
火の国未来ネットワーク、グリーンコープ、RenCon等

ボランティア受入件数：延べ48件

ボランティア数：延べ443人

参加者数：延べ1,235人

○人吉市災害復興ボランティアセンターとの連携連絡調整を行い、必要なニーズにつなげました。

④関係機関との連携

○行政や専門機関、自治組織等の関係団体との情報共有、意見交換の場として運営会議を開催しました。

会議名称：人吉市地域支え合いセンター運営会議

構成メンバー：県弁護士会、町内会長連合会、民生委員児童協議会、
くらし見守り相談員連絡協議会、県健康福祉政策課、県保健所、
県防犯協会連合会、県社協、県支え合いセンター支援事務所、
市被災者支援対策課、市高齢者支援課、市福祉課、市保健センター、
地域包括支援センター

内容：人吉市地域支え合いセンターの活動報告、各関係機関の取組状況の共有、課題やニーズの共有、意見交換

回数：月1回 計7回開催

(コロナ感染症まん延防止等重点措置等の適用期間は中止)

○個別の支援困難ケースに対して各関係機関と状況共有及び助言をいただく場としてケース検討会議を開催しました。

会議名称：ケース検討会議

構成メンバー：民生委員、町内会長、警察生活安全課、障害者施設担当、
県住まい対策室、ケースワーカー、市被災者支援対策課、市福祉課、
市高齢者支援課、市保健センター、地域包括支援センター、
権利擁護担当、困りごと支援センター、買い物支援担当

内容：事例検討

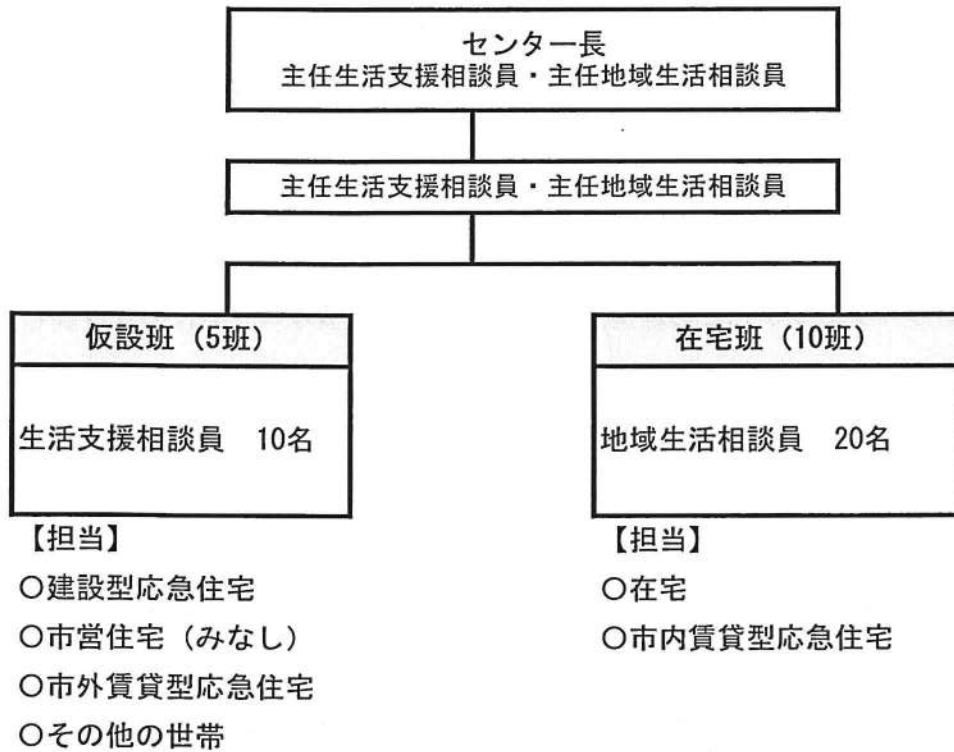
回数：4回

○定期報告会への出席

内容：県住まい対策室、市被災者支援対策課と支え合いセンター生活支援相談員と情報共有し、支援の方向性を確認しました。

期日：2月24・25日

組織体制



Ⅶ ボランティア活動及び福祉教育の推進

1 児童・生徒を対象にした「福祉教育」の推進

①令和3年度ボランティア協力校の状況

市内小・中・高等学校をボランティア協力校に指定。環境美化活動、リサイクル活動、募金活動などを実施し、豊かな心の育成に取り組んでいただきました。

【人吉市社会福祉協議会指定校（11校）】

人吉市立人吉東小学校 人吉市立人吉西小学校 人吉市立西瀬小学校 人吉市立東間小学校
 人吉市立中原小学校 人吉市立大畑小学校 人吉市立第一中学校 人吉市立第二中学校
 人吉市立第三中学校 熊本県立人吉高等学校 熊本県立球磨工業高等学校

②福祉教育出前講座の実施

令和3年11月5日	4年生 51名	①車椅子体験 ②視覚障がい者疑似体験（ガイドヘルプ）
人吉東間小学校		
令和3年11月26日	4年生 81名	①視覚障がいについて（ガイドヘルプ体験等） ②車いす体験、高齢者疑似体験 ③聴覚障がいについて（手話の学習等）
人吉東小学校		

③ボランティア体験事業 実績

- ・ボランティアスクール（対象児童：小学校6年生）
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。
- ・福祉の職場体験事業（対象者：中学生以上）
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。
- ・中高校生のための災害ボランティア講座（対象者：中学生以上）
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。

2 ボランティアセンター登録状況

ボランティア団体登録数	48グループ	1,295名
個人ボランティア登録数		78名
ボランティアニーズ・相談数		5件
人吉市ボランティア連絡協議会	19グループ	227名

3 人吉市災害救援ボランティア養成事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

4 球磨ブロック社協災害ボランティアセンター設置訓練

災害ボランティアセンター運営と新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

5 災害ボランティアセンター

令和2年7月豪雨災害の発災を受けて、令和2年7月10日に災害ボランティアセンターを立ち上げ、住まいの復旧支援活動を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動を休止する期間もありましたが、県内応援社協職員、関係団体、運営支援団体等と連携し災害ボランティアセンターの運営を行うことができました。

コロナ禍ということもあり熊本県内在住の方を中心にボランティア募集を行い、126日間で延べ19,331名の方が活動しました。依頼があったニーズが全て終了したことに伴い、令和4年3月31日に災害ボランティアセンターを閉所しました。閉所後の生活再建の支援は、地域支え合いセンターを中心に行っています。

また、今後の災害発生に備えて、令和3年7月に県境4市社協(宮崎県えびの市・小林市、鹿児島県伊佐市、熊本県人吉市)で災害時相互応援協定を締結、令和3年12月には、ひと・くま災害応援隊(人吉球磨のボランティア団体の連合体)と人吉市、人吉市社協との3者による連携支援に関する協定を締結しました。

- ・設置場所 : 東間コミュニティセンター(蟹作町) ⇒ 人吉市社会福祉協議会 一帯 (西間下町)
- ・運営支援団体 : 災害NGO結・ピースボート災害支援センター等
- ・主な作業内容 : 住居内の泥だし・洗浄、浸水した家具・家財の運び出し、流入した災害ごみの運び出し 等

月別活動状況(R2.7.10~R4.3.31)

活動月	活動日数	ボランティア人数	1日当り人数	ニーズ受付件数	対応件数	完了件数
R2年7月	20	7,095	355	794	611	190
8月	28	7,231	258	129	564	268
9月	10	1,807	181	43	116	46
10月	14	1,106	79	60	148	99
11月	13	768	59	38	140	19
12月	6	455	76	18	61	25
R3年1月	0	0	0	13	0	61
2月	4	132	33	10	15	5
3月	7	180	26	15	28	2
4月	7	153	22	2	19	6
5月	0	0	0	6	0	7
6月	3	77	26	7	8	10
7月	4	105	21	1	13	5
8月	0	0	0	4	0	4
9月	0	0	0	5	0	4
10月	5	120	24	4	13	6
11月	3	74	25	3	9	5
12月	2	28	14	1	9	4
R4年1月	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	1
合計	126	19,331	153	1,153	1,754	767

Ⅷ 在宅福祉サービス事業

1 デイサロン事業

介護予防や体力づくりに重点を置いた「あさデイ」と「デイサロン」を合わせて市内52会場で開催しました。水害で被災した会場の再建にともない、昨年度からは開催会場については増加しています。新型コロナウイルス感染拡大防止にとまなう措置などにより中止となるなど開催の回数は少なくなりました。外出の機会が減り他者との交流も減ったことで訪問し体調確認や宿題配布などで対応しました。

年月	開催回数	利用者数	平均利用者数	介護予防教室内容
令和3年4月	65	703	10.82	「こつこつ体操」 } 4月～3月まで ストレッチ、脳トレ等 } 毎月開催
5月	47	452	9.62	
6月	49	588	12.00	} 介護予防生活機能評価測定 (実施期間…7～11月)
7月	70	695	9.93	
8月	45	413	9.18	
9月	50	519	10.38	
10月	73	699	9.58	
11月	68	704	10.35	
12月	70	685	9.79	
令和4年1月	14	144	10.29	
2月	3	38	12.67	
3月	47	507	10.79	
合計	601	6,147	10.23	

2 地域包括支援センター

地域における高齢者の総合相談と包括的支援体制を確立し高齢者が要介護状態になることの予防を推進するとともに、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のため、包括的支援業務を行うことを目的として人吉市から委託を受けました。

職員体制は保健師等、社会福祉士、主任ケアマネの3職種が6名、介護支援専門員3名、介護予防プランナー3名、事務職1名の計13名となっています。

①総合相談支援（延べ件数）

	電話	来所	訪問	合計
総合相談支援業務関係	3,887	937	3,374	8,198
介護や介護保険等福祉に関する相談	1,368	363	1,093	2,824
健康や病気など保健、医療に関する相談	1,373	278	1,282	2,933
歯に関する相談	7	0	6	13
認知症に関する相談	399	138	422	959
その他の相談	740	158	571	1,469
権利擁護業務関係	96	43	96	235
高齢者虐待に関する相談	26	7	13	46
権利擁護・成年後見に関する相談	69	33	79	181
消費者被害に関する相談	1	3	4	8
包括的・継続的ケアマネジメント業務関係	58	23	28	109
介護支援専門員の個別指導・相談	46	14	10	70
支援困難事例等への相談	12	9	18	39
合計	4,041	1,003	3,498	8,542

②介護予防給付業務及び介護予防ケアマネジメント業務（サービス計画書作成）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	87	87	90	92	89	89	89	91	87	80	76	76	1,033
要支援1	81	82	82	84	90	89	95	93	95	93	96	96	1,076
要支援2	68	69	68	72	68	69	73	74	66	65	68	71	831
合計	236	238	240	248	247	247	257	258	248	238	240	243	2,940

③認知症初期集中支援チーム員会議

複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行うチームの会議を月1回開催しました。

④介護者家族会

在宅で介護されている親族等が集まり介護に関する情報交換や研修会等を月1回開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止、水害により2回の開催になっています。

⑤介護支援専門員連絡会

2ヶ月に1回市内にある居宅介護支援事業所の介護支援専門員を対象に相互の情報交換やネットワークの構築、また、介護支援専門員の資質向上、制度や施策になどに関する情報提供を行う機会として実施しました。

今年度は4回開催し、水害時の対応、ケアプラン点検ガイドライン、総合事業について情報交換を行いました。

⑥命のバトン事業

命のバトンは、高齢者や障がい者などの安全・安心を確保するため必要な情報を記載し、その情報書を専用の容器に入れて冷蔵庫に保管することで万一の救急時に備えるものです。

現在の登録者数は、次のとおりです。

校 区	東	西	東間	大畑	西瀬	中原
登録者数(人)	447	352	336	173	242	345
合計(人)	1,895					

⑦SOSキーホルダー事業

市内にお住いの高齢者の希望者にお渡ししている緑色のキーホルダーです。外出先での体調悪化や認知症の方の徘徊等されたときに、キーホルダーに記載された番号から本人の身元を確認し家族や関係者へつなぎます。

現在の登録者は3,494人です。

3 居宅介護支援事業

利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数
要介護1	26	24	24	26	27	31	32	32	35	34	36	37	98
要介護2	16	16	16	16	14	16	17	18	21	23	24	21	
要介護3	13	14	13	12	14	14	14	14	14	14	14	17	
要介護4	3	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	
要介護5	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	4	4	
合計	62	60	59	60	62	67	69	70	76	77	81	82	

4 訪問介護事業

利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数
事業対象者	7	7	6	6	5	5	6	7	10	9	9	8	92
要支援1	10	10	10	10	10	9	9	10	10	10	11	12	
要支援2	10	9	9	10	9	12	12	12	10	10	10	10	
要介護1	22	19	20	21	20	20	21	18	20	19	20	20	
要介護2	14	14	13	12	11	11	13	14	15	13	12	12	
要介護3	5	7	7	5	5	6	6	7	6	6	8	6	
要介護4	1	1	2	2	2	1	1	2	2	1	1	1	
要介護5	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
利用者数(人)	70	69	68	67	63	65	69	71	74	69	72	70	
保険外訪問	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計利用者数(人)	71	70	69	68	64	66	70	72	75	70	73	71	

5 障害者総合支援法関係事業

居宅介護 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数
区分1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	35
区分2	9	7	9	9	9	6	7	9	6	7	7	7	
区分3	14	14	15	16	15	18	19	17	19	17	17	17	
区分4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
区分5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
区分6	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	
利用者数(人)	27	25	29	30	29	28	31	31	30	29	29	29	

移動支援 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数
利用者数(人)	7	7	9	10	9	7	8	9	9	8	9	9	13

Ⅷ 共同募金

1 赤い羽根共同募金

今年度は、募金目標額900万円に設定しておりましたが、令和2年7月豪雨からの復旧・復興もまだ道半ばであること、また新型コロナウイルス感染症によるイベント中止により募金活動をする機会が限られた事から目標額には及びませんでした。しかしながら、町内会長をはじめ、各種関係団体や民間事業所、行政機関等の協力を得て募金活動に取り組み前年度を大きく上回る募金が集まりました。また、助成については、申請があった13団体及びボランティア協力校10校、一般公募1件に対し審査委員会の審査を経て、助成しました。

県目標額A	1,730,000円	目標額B	7,270,000円
合計目標額	9,000,000円		
実績額	6,725,423円		

単位：円

募 金 種 別	募 金 額	内 容
戸別・袋募金	4,076,669	町内会を通じ、各戸から
法人募金	761,010	市内の法人
職域募金	1,062,791	官公庁・企業の職員の方々
学校募金	78,287	各学校
大口募金	53,978	1件5,000円以上の寄付者
自動販売機	543,319	総合福祉センター、市役所別館、弓道場前駐車場 あやめ公園、石野公園、仮設住宅
その他	149,369	バッジ等寄付、利息
合 計	6,725,423	

※県共同募金会へ当年度募金額の全額を送金し、翌年度に配分される仕組み

令和2年度共同募金活動による令和3年度配分実績内訳

令和3年度配分金額 4,345,856円

単位：円

区 別	配 分 額	内 訳
高齢者福祉	27,438	給食ボランティア事業助成金・保険
	94,941	ミニサロン事業助成金・参加者保険
	180,000	小地域ネットワーク助成金
	520,000	老人クラブ（シルバーヘルパー事業）助成金
障害児・者福祉	76,540	福祉3団体助成金・手数料
児童・青少年	4,116	ボランティア体験行事通信費
	240,800	ボランティア協力校活動助成金
	16,474	児童福祉部会
	165,330	ボランティア読本作成
	97,560	福祉2団体助成金
福祉育成	1,071,700	社協だより発行・ホームページ利用料
	180,000	校区社協だより助成金
	106,664	表彰関係
	172,000	福祉2団体助成金・一般公募1件
歳末たすけあい 配分金事業	824,440	歳末たすけあい見舞金配分事業
合計	3,778,003	

令和3年度配分金 4,345,856円-3,778,003円=567,853円（次年度へ繰越）

2 歳末たすけあい運動

本年度も「歳末たすけあい演芸会」は、開催できませんでした。各町内会を通して歳末の袋募金を行いました。募金を原資とした配分事業では、生活困窮世帯や生活困りごとの相談が多かった「生活困窮ひとり親等世帯」の児童数に応じた現金を配分し、高齢者等にお手紙をお届けしました。

第54回歳末たすけあい演芸会

カルチャーパレス使用不可の状況と新型コロナウイルス感染拡大を受け、第54回歳末たすけあい演芸会の開催を見送りました。

歳末たすけあい見舞い金品配分実績

項 目		金額	件数	合計金額
生活困窮世帯	1人	10,000円 ×	5件	50,000円
	2人	12,000円 ×	0件	0円
	3人	14,000円 ×	2件	28,000円
	4人	16,000円 ×	0件	0円
	5人	18,000円 ×	0件	0円
	6人	20,000円 ×	1件	20,000円
	8人	24,000円 ×	1件	24,000円
	小計			9件
生活困窮 ひとり親等児童扶養世帯	1人	5,000円 ×	6件	30,000円
	2人	7,000円 ×	5件	35,000円
	3人	9,000円 ×	3件	27,000円
	4人	11,000円 ×	2件	22,000円
	小計			16件
寝たきり高齢者介護世帯		12,000円 ×	24件	288,000円
認知症高齢者介護世帯		12,000円 ×	25件	300,000円
在宅75歳以上一人暮らし世帯		お手紙 ×	985件	0円
在宅85歳以上の方がいる世帯		お手紙 ×	1,031件	
在宅80歳以上の高齢者のみ世帯		お手紙 ×	146件	
	合計		2,236件	824,000円

* 例年、在宅75歳以上一人暮らし世帯・在宅85歳以上の方がいる世帯・在宅80歳以上の高齢者のみ帯にはタオルを配分していましたが、今年度は昨年度同様、あいさつ文の入ったお手紙のみお届けしました。

IX その他の事業

1 人吉市総合福祉センター利用状況

社会福祉協議会をはじめ公共機関及び各種団体等の年間利用総数は589回となり、収入総額は62,315円でした。

(単位：円)

区 分	使用回数	利 用 料	減 免 額	納 入 額
社 人吉市社会福祉協議会	435	1,243,234	1,243,234	0
協 校区社会福祉協議会	23	71,775	68,750	3,025
くらし見守り相談員連絡協議会	14	49,390	48,840	550
団 人吉市民生委員児童委員協議会	72	277,145	257,070	20,075
人吉市老人クラブ連合会	0	0	0	0
人吉市子ども会育成連絡協議会	0	0	0	0
人吉市保育園連盟	17	47,520	39,600	7,920
人吉市遺族会	0	0	0	0
人吉市ボランティア連絡協議会	8	19,580	17,930	1,650
熊本県共同募金会 人吉市共同募金委員会	6	19,140	16,610	2,530
社協関係ボランティア団体	3	8,723	8,283	440
福祉関係団体等	5	11,550	9,350	2,200
公共機関等(市内)	2	5,995	0	5,995
公共機関等(市外)	4	17,930	0	17,930
合 計	589	1,771,982	1,709,667	62,315

2 介護用機器等の貸出

社協では、短期間での利用及び経済的理由での車椅子やベッドなどの7種類の介護機器等を最長3ヶ月間無料で貸出しました。本年度の延べ貸出件数は119件となっております。

介護用機器等	件 数	介護用機器等	件 数
1 車イス	55件	5 歩行器	2件
2 ベッド	7件	6 押し車	6件
3 ポータブルトイレ	24件	7 チャイルドシート・ジュニアシート	3件
4 シャワーチェアー	15件	8 松葉杖・杖・浴槽台	7件
合 計(延べ件数)			119件

3 善意銀行

生活困窮者自立相談支援事業と連携し、生活困窮者支援のため預託金から食料品を購入しました。

預託金品等	件 数	内 訳
寄附金	2 件	68,000円
物 品	41 件	・扇風機 ・歩行器 ・電気ポット ・トースター ・紙オムツ ・尿取りパット ・防水シート・子供用紙オムツ ・ポータブルトイレ・シルバーカー ・カセットコンロ ・衣類・下着・布団・毛布・車椅子・洗濯機 ・ポリデント・食料品 ・タオル ・冷蔵庫 ・米 ・シャワーチェアー ・加湿器
計	43 件	
払出金品等	件 数	内 訳
払出金	4 件	フードバンク食品代 38,634円
物 品	99 件	・食料品 ・手押し車 ・折りたたみベッド ・ポータブルトイレ ・炊飯器 ・杖 ・冷蔵庫 ・電子レンジ ・扇風機
計	103 件	

4 各種団体の事務局

①人吉市民生委員児童委員協議会

理事会（各单位民児協会長、副会長、主任児童委員代表）毎月1回

各单位民児協例会（4校区）毎月1回

各单位民児協宿泊研修（4校区）同行

各種研修準備・同行

※ コロナ禍のため実施できませんでした。

※ コロナ禍のため実施できませんでした。

②人吉市くらし見守り相談員連絡協議会

※詳細はⅤ（地域福祉事業の推進）の5に記載。会議、研修会等の支援。

③人吉市校区社協連絡協議会

※詳細はⅣ（校区社協活動）に記載。会議、研修会等の支援。

④熊本県共同募金会人吉市共同募金委員会

共同募金委員会の開催（年2回）

共同募金審査委員会の開催（年1回）

⑤人吉市ボランティア連絡協議会

総会、研修会の準備。五役会、役員会等への参加。

X 資料

1 会費の実績

（単位：円）

会費の種類	令和2年度		令和3年度	
	件数	金額	件数	金額
普通会費 : 1戸 200円	12,111	2,422,200	11,442	2,288,400
賛助会費 : 1口 1,000円	3,618	3,805,000	4,303	4,434,000
特別会費 : 1人 10,000円	96	960,000	114	1,140,000
合計	15,825	7,187,200	15,859	7,862,400

2 寄附・香典返し

（単位：円）

	令和2年度		令和3年度	
	件数	金額	件数	金額
一般寄付金	30件	293,155	36件	4,075,077
香典返し寄付金	199件	4,836,000	186件	4,248,000
合計	229件	5,129,155	222件	8,323,077

3 団体等の受入

※ コロナ禍のため受入れはありませんでした。

年月日	訪問団体（個人）名	内容	人数

4 実習生の受入

※ コロナ禍のため受入れはありませんでした。

期間	日数	学校等	人数	実習の内容

